

西播磨圏域自立支援協議会 活動記録（報告）

開催日時	令和4年10月25日（火）10:00～11:30
開催場所	宍粟防災センター
出席者	障害児計画相談に関する連絡会6名、療育に関する情報交換会6名、市町部会2名
内容	令和4年度 宍粟・佐用地区合同部会 （障害児計画相談に関する連絡会・療育に関する情報交換会・市町部会）
議事	<p><b>【開会】</b> 堤職員より挨拶</p> <p><b>【事業所紹介】</b> 座席図に沿って自己紹介</p> <p><b>【障害児に関する計画相談について】</b> 濱本 Co より、相談支援部会での収集データをもとに西播磨圏域障害児計画相談の状況を説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R3の障害児相談支援実績について、宍粟市：334件（うち新規16件）、佐用町：201件（うち新規14件）と、いずれも前年度より増加している</li> <li>・保健師や保育士などと兼務している相談員も多く、人員不足によりニーズへの対応が難しい状況である</li> <li>・上郡町には障害児通所支援事業所がない（圏域内で唯一）ため、人口に比べて相談件数が少ない</li> <li>・事業所があれば相談件数も増える。たつの市・太子町では近年事業所の開設が多く、それに比例して相談件数も年々増加している</li> </ul> <p><b>【3グループに分かれて情報交換（2部制）】※一部グループのみ抜粋</b></p> <p>&lt;宍粟市の自立支援協議会の状況について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宍粟市の自立支援協議会は療育部会がないため、児相談支援事業所や児通所支援事業所の情報交換の場は圏域協議会の年3回のみである</li> <li>・圏域の部会は参加者が多く、会議のほとんどの時間を自己紹介が占める。時間も限られており、踏み込んだ情報交換ができない。また、会場の龍野健福までの移動の負担が大きく、参加を断念することもある</li> <li>・者の相談支援部会は宍粟市、圏域とも隔月実施。宍粟市が奇数月、圏域が偶数月に開催され、毎月顔を合わせる機会が設けられている</li> <li>・宍粟市での療育部会が新設される話もあったがコロナで中止→再度検討し、市内事業所の情報交換の機会を増やしていきたい</li> </ul> <p>&lt;保護者への対応について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・療育については保護者の積極的な介入が不可欠。障害を単に子どもらしさで見過ごしている保護者も多い</li> <li>・どれだけ支援が必要な児であっても保護者の理解がないとサービスを開始できない。保育士等の困り感はあるものの、本人家族は困っておらずサービス利用に至らないケースもある。保護者の理解をしっかりと得ることが重要</li> <li>・保護者へサービスを強く勧めることは逆効果。療育が必要な児を漏らすことな</li> </ul>

くサービスをつなげられるよう、市の保健師とタッグを組むなど工夫し、保護者の理解を得ることも相談員の大きな役割

**【その他】**

<濱本 Co より追加確認>

医療的ケア児等の有無・サービス利用について

**【宍粟市】**

- ・ケア児あり（筋ジストロフィー、人工呼吸器導入）
- ・市内でのサービス利用なし。姫路市の訪問型児童発達支援を利用（多機能型事業所つむぎ）

**【佐用町】**

- ・ケア児なし
- ・3年前に放デイつぼみで受入あり（亡くなったため利用終了）

<上郡ランチの移転について>

別紙チラシのとおり

<ファイトより事業所紹介>

別紙チラシのとおり

**【閉会】**

堤職員より挨拶